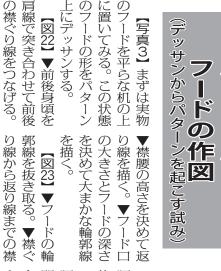
と思うが、

述する。



【写真3】



ドの輪 抜き取り反転する。腰部分(網かけ部分)・

開し、返り線同士が突き 腰に切り込みを入れて展 アノードと襟 合わせになるように合体 する。 図 27

らフ

部

(網かけ部

を 【図25】フード 図26 ▼フ· 口をトレース -ドの外 と襟腰

せて、切り込みを入れて (図28) ▼フード本体 たたみながら合体する。 図 29 上部を突き合わ 合体が完了

が、こんなた方法だ 認。 がりを確 作ワルを組 【写真4】 【図27】 【図29】 知れぬ。相当な慣れを要なめに幾度やり直したかると、筆者もこの原稿のはまずならない。白状す

み通りのパターン形状に も試行錯誤をしないと望っ なってしまうので、何度 って予想できない結果に いますが、「フードって不足なところはあると思 した。まだまだ突っ込み お をテーマに書きま 2回にわたって

はデッサンの描き方によってきた。但し、この方法・一ンが出来ることは確認・やり方でもフードのパタ

す

夕一 による

【図23】

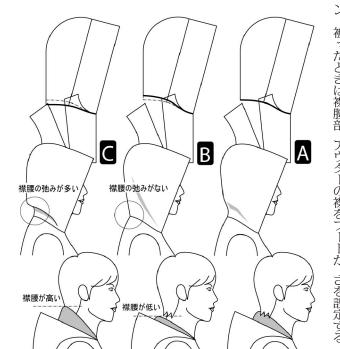
【図24】

【図25】

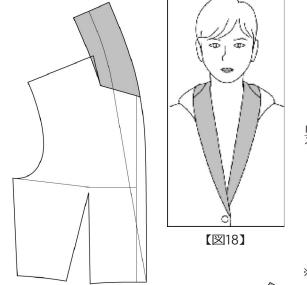
と同じ。 -ド付け線の後

たときは襟腰の高さが低 分の弛みがなく、下ろし ン。被ったときは襟腰部 ろ中心を高くしたパター いる。 -ド付け線の後

のカーブ形状によるフ と。襟ではないのに「襟きの折り返りの高さのこ 際ご容赦頂きたい。 ドの外観の違いを比較す 思いつかないので、この 腰」と称するのはどうか ドを下ろしたと 「襟腰の高さ」 他に呼び方が と記 ときの状態をそれぞれ表 を被ったときと下ろした 外観図はフ

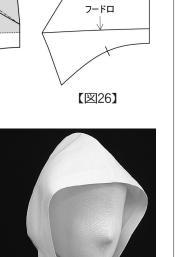


【図16】 (II)



【図19】

小さめ・



【写真4】

SINCE 1970 国産アパレルCADと東レACSの歴史です。

【図28】

4 ド付け 関係

No. 002

正哲

イトキン株式会社生産本部商品管理部技術課

(きくち・まさのり)

日本モデリスト協会運営委員

か、被ったときと下ろし

下ろしたときの状態をそ

れぞれ表している。

ドを被ったときの正面と

たときの両方の状態で比

ように影響してくるの

が長いと思われます

、むしろこちらの方が長いと思われますの

一とする。

を下ろして着用する時間 も、殆どの場合はフ

外観の違いを比較する。

ドの高さは同

浮きが多くフ

重要かもしれません。

パターン形状の違 ・ドの外観にどの

斜度が15度(基本形)

0

ド高さ線の傾

タ

重要になります。コー

にしてもパ

の傾斜度によるフースの傾斜度によるフースを

服のデザイン要素として

本的要素以外に、フー たときの形状を決める基

5

フー

0

が傾斜度と

る。パターン設計においは顔の表情にも影響す

す。さらに、応用デザイ較してみることにしま

斜度を5度に設定したパ

-ド口が長く

Bはフィ

ド高さ線の傾

ンとしてラペル続きのフ

変化要因について解説し今回はフードの外観の 「襟付け線」を以 -付け線」 高さ・奥行き・傾斜といます。フードの外観には、 ■Aは基本形フードのパ)線と襟腰(0

被ったときは襟腰部 心を低くしたパター アウターの襟をフードが ね着するような場合は、 上にアウターを重

起こすパターン展開方式 に挑戦してみます。

外回りが短い《からい襟》 たときは襟腰の高さが高 ※襟に例えると 下ろし 2 必要になる。一方でジャー 跨ぐために襟腰の高さが 慮して、適切な襟腰の高 する際は素材や用途を考 合もある。フードを設計素材では襟腰が不要な場 ージーなど伸縮性のある

デッサンからパターンを

くなる。

た試みとして、

す。最後に、ちょっとし

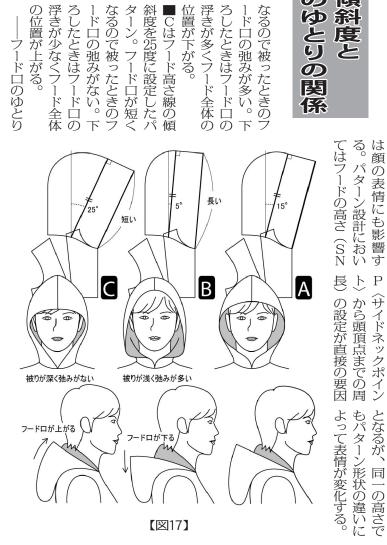
ドの作図を紹介しま

ったデザイン。 【図19】通常のラペル 図18 ショ 6 ラペ 下が一体とない。 続きのフードの

と襟のパターンを使用す ンをボディー 沿うように、切り込みを 入れて外回りの開き分を た状態。立てた襟が首に 紙のパタ に着せ付け

を参考に襟の外回りを4 ~55%開く。※数値は参 ※数値は参考値 開く量が多いほど 回りを4 から

义





【写真2】

【写真1】 **TORAY Innovation by Chemistry**

東レACSは アパレルの設計工程を革新し

第49回 大阪ミシンショーに出展します。

*IT 技術とともに進化する「クレアコンポⅡ Ver4」

「セミオーダー」ツール、「デジタルトワル」等、最新商品・サービスをご紹介します。

〇会期:2017年3月24日、3月25日 10:00~17:00

○会場: インテックス大阪 3 号館 ブースNo.62

東レACS株式会社

:〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-1-3 磯村ビル4F

http://www.toray-acs.co.jp/

CREA COMPO II





TEL:(03)6327-7000 FAX:(03)6327-7009

大阪支店:〒541-0056 大阪市中央区久太郎町3-6-8 御堂筋ダイワビル12F TEL:(06)6253-5900 FAX:(06)6253-5906